

英語科における 言語活動の充実

(その3)

～ 統合的な言語活動～

Q よく耳にする「統合的な言語活動」ってどういうことなのかなあ？



A 「**統合的**な言語活動」は、学習指導要領の基本方針の一つである「4技能の**総合的**な育成」のために求められているものです。

“**統合的**” と ”**総合的**” は、それぞれ次のような違いがあります。



統合的	学習指導要領では、「4技能を統合的に活用させる言語活動」というように使用されています。「聞いた」ことについて「話す」など、複数技能を有機的に関連付けることを指しています。
総合的	学習指導要領では、「4技能を総合的に育成する」というように使用されています。「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能をバランスよく育成するという視点で使用されています。

そうすると、「統合的な言語活動」とはどんな言語活動であると言えますか？

つまり「統合的な言語活動」とは、こういうことですか？



複数の技能の言語活動を有機的に関連付けたもの

- 例) • 「聞いた」内容について「話す」活動
• 手紙などを「読んで」その返事を「書く」活動
• 「読んだ」内容について、感想や賛否とその理由を「書く」活動



そのとおり！

複数技能を組み合わせた活動と表現する場合もあります。単に1時間に「聞く」活動を行って、次に、教科書を「読む」活動を行って、最後に、英作文で「書く」活動を行うということではないのです。活動間に有機的なかかわりが必要なのです。

Q なぜ「統合的な言語活動」が重要なの？



A 次のように言われています。



統合的な言語活動は

- ・言語活動がより自然になり、実践に近いものになる。
- ・文法中心でなく、内容中心の言語活動になる。
- ・技能の定着、発展につながる。

注 意

- 1 言語活動を統合すること自体が目的ではありません。4技能の総合的な育成のための言語活動の充実の一つの視点と考えください。
- 2 言語活動も、コミュニケーション能力の基礎を育成する手立てです。授業における言語活動は、授業のねらいを達成させるためのものであり、言語活動自体が目的ではありません。



まずは、生徒の実態に応じて、できるところから取り組んでみてください。あまりにも、言語活動を統合することにこだわりすぎて、複雑なものになってしまったり、不自然になってしまったりすることのないように注意してほしいと思います。

今までも、無意識にではありましたが、統合的な言語活動を行ってきた先生もいらっしゃると思います。改めて自分の指導について確認し、意識して行うことから始めるものよいことだと思います。

また、NEW CROWN ENGLISH SERIES には、USE Mini-project という統合的な言語活動を意図した課題があります。進度の関係で取り扱わない、ということもあるようですが、今求められている活動を意図して構成されていますので、ぜひ十分に時間を確保し、取り組ませてほしいと思います。